

太田市区長会研修会

～地域コミュニティが命を救う、 災害犠牲者ゼロを目指した防災まちづくり～

令和6年1月29日（月）に社会教育総合センターにて、区長・区長代理を対象に研修会を開催しました。

令和5年度の区長会研修会は、防災意識の高揚を図り地域の防災力向上につなげるため、茨城県常総市の根新田町内会自主防災組織の須賀英雄事務局長にご講演をいただきました。

根新田町内会が2015年9月の「関東・東北豪雨災害」で地域が甚大な被害を受けつつも「SMS 一斉送信システム」で地域住民の逃げ遅れを大幅に防いだ方法や、水害に備えた家族の避難行動計画「マイ・タイムライン」の作成、震災に備えた迅速な安否確認の仕組み「無事ですタオル」の活用など、自主防災活動の先進的な取り組み事例をご紹介いただきました。

災害を自らのこととして考える個人の意識「自助」が欠落すると防災・減災は成り立たないため、まずは日頃から一人一人が災害に備えること（自助）、そして、近所同士の助け合い（近助・共助）の重要性などについて、強く訴えられていました。

折しも1月1日に発生した能登半島地震の影響もあり、参加された区長・区長代理のみなさんは非常に関心を持ち熱心に耳を傾けていました。

終了後に回収したアンケートをみると、「経験に基づく講演で説得力がありたいへん参考になった」、「当町内での災害対策・防災計画に活かしていきたい」という意見が多くみられました。

各自、各地区でできることから始め、つながり合う、支え合うことの大切さを考えていただければと思います。

